

## 宣教支援センターだより 2023年2月号

連盟第68回定期総会が、書面総会の形式で2月24日(金)に行われます。総会牧師の田中伊策牧師(直方)は、浦和の連盟事務所に赴いて、総会決議の開票作業を見守る予定にしていると伺いました。連盟宣教部の再編を含む重要議案が審議されるほか、福井教会をはじめとする北陸3教会による全国支援・地域協働プロジェクトの審議が行われます。

### ■教会への伴走で見えてきたこと その2 つながり続けることが希望

北九州地方連合に加入する27教会は、それぞれが自主独立の教会形成をしながらも、教会の枠を超えて、つながり続けることを選び取っています。

宣教支援センターでは新しい試みとして「信徒説教者養成講座」を立ち上げました。無牧師の教会が増えつつある中で、自分たちの牧師を送り出す教会の負担を少しでも減らすことが、主なねらいです。

初回は大分教会から4名、臼杵教会から4名の信徒のみなさんが受講を希望してくださり、昨年秋からおおむね月1回のペースで、主日の午後にオンライン(Zoom)で学びを続けて来ました。

コーディネーターは谷本連合会長で、テキストはありません。信徒として長年にわたり礼拝宣教を聴き続けて来られたみなさんから、思いを引き出しながら、対話的な学びを進めています。

1月8日(日)第4回のクラスでは、

一言説教(2分程度)を即興で作っていただき、発表してもらいました。

ご自身の信仰に基づいて、イエス様の言葉で、目の前の相手を励まし力づけることができたならば、もう信徒説教の中核部分は完成していることになります。

実際、受講生8名のうち、2名の一言説教は仲間が涙を流すほどのメッセージになっていました。最終的には5分間の信徒説教に仕上げてください。

イエス様につながり続けることが希望であり、いのちそのものです。それは結果として自分以外の誰かを励ますこととなります。ここに私たちが地方連合を組織している理由があるのです。

### ■今月の予定

- 5日(日) 小倉春ヶ丘教会礼拝宣教
- 6日(月) 医療刑務所聖書講座
- 9日(木) 地方連合役員会
- 12日(日) 直方教会礼拝出席  
豊前教会献堂式出席
- 13日(月) 伝道委員会陪席(小倉)
- 14日(火) センター調整会議
- 19日(日) 小倉教会礼拝宣教
- 26日(日) 北九州教会礼拝宣教
- 28日(火) 総務財務委陪席(春ヶ丘)

### ■編集後記

地方連合教会教育委員会と、地方連合女性会では、2022年度に新型コロナウイルスの感染拡大で中止した連合小学科夏期学校を7月下旬に開催する方向で調整を進めています。奉仕者の確保が課題です。

今後は融通し合いながら、子ども達のことを考えていただければと思います。